

No.	024	—	1007	事務事業名	奨学金支給事務			細事務事業名				公的関与	9
PLAN	課名	学校教育課		係名	総務係			電話番号	089-964-4420		メールアドレス	gakkokyoiku@city.toon.ehime.jp	
	事業区分	補助金・負担金・支援		事業運営方法	直営			実施計画	非該当		事業期間	S38年度～年度 期間設定なし	
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち			政策項目	2 学校教育の充実			主要施策	(2) 生きる力の育成を重視した教育活動の充実		
	事業の対象	東温市立中学校の第3学年に在学し、学校教育法第1条に規定する高等学校等に進学が見込まれる方、または高等学校等に在学中の方						根拠法令	東温市奨学金運用規則				
	事業の目的	最終的	成績優秀でありながら、経済的理由により就学が困難な方に対し、高等学校等の正規の修学期間中、月額10,000円を付与します。					今年度	新規採用2人を含め、6人に付与しています。次年度奨学生候補者についても、制度の趣旨にふさわしい選考を行います。				
	活動内容	①	広報とうおん、市ホームページで、1月から2月にかけて奨学生の募集を行います。					④					
		②	奨学金運用委員会を開催し、応募者の中から奨学生候補者の選考を行います。					⑤					
		③	年間を4期に分けて奨学金を支給します。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標		
				業務の性質上、指標設定になじみません。			目標						
					実績								
					目標								
					実績								
					目標								
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	教育			費			
	直接事業費		平成 26 年度決算	平成 27 年度決算	平成 28 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	720千円	720千円	840千円								
	計(A)	720千円	720千円	840千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.006人	36千円	0.006人	36千円	0.006人	36千円					
		臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円					
	全体事業費(A+B)		756千円	756千円	876千円								
一次評価者	総務係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	志を持ちながら経済的理由により就学困難な生徒の高等教育を受ける機会の確保に寄与するものとして実施する意義があります。近隣自治体と比較した場合、返済義務がない給付型である本市の制度は稀なものです。												
有効性	学習意欲がありながら、経済的に厳しい家庭の生徒が対象であることから、月額10,000円の付与は有効性があります。												
達成度	概ね運用規則の趣旨にのっとり奨学生の選考が行われています。経済的理由にのみ注目しないよう留意していきます。												
効率性	基金は寄附金によって賄われており、制度の継続を前提とした財源確保の検討が必要です。												
当面の課題	継続して奨学生を採用していくためには、基金の原資となっている寄附金の確保が課題となります。												
改訂計画	広報等で広く周知し、制度の継続性の必要を知っていただき財源の確保を図ります。また、返済義務のある新制度の検討を引続き行います。												
二次評価者	学校教育課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	奨学金の付与に関しては適正に実施されていると考えます。今後は、財源確保のための方策の検討及び制度周知の推進に努めてください。												

No.	024	—	1009	事務事業名	外国語指導助手派遣事業	細事務事業名		公的関与	7				
PLAN	課名	学校教育課	係名	総務係	電話番号	089-964-4420	メールアドレス	gakkokyoiku@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	6年度～年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	2 学校教育の充実		主要施策	(2) 生きる力の育成を重視した教育活動の充実				
	事業の対象	主として中学校における外国語科の授業補助、小学校における外国語活動の授業補助				根拠法令							
	事業の目的	最終的	外国語教育の充実、国際交流の発展を図ることを目的としています。			今年度	重信中学校には外国語指導業務委託契約により民間企業から派遣されている外国語指導助手、川内中学校には市が直接任用した外国語指導助手を配置しています。						
	活動内容	①	小中学校における外国語授業の補助を行います。			④	英語弁論大会等の運営協力を行います。						
		②	外国語教材作成の補助を行います。			⑤							
		③	教員に対する現職研修の補助に従事します。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標			
				業務の性質上、指標設定になじみません。		目標							
				実績									
				目標									
				実績									
				目標									
				実績									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育			費				
	直接事業費		平成 26 年度決算	平成 27 年度決算	平成 28 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	9,303 千円	9,534 千円	9,015 千円								
	計(A)	9,303 千円	9,534 千円	9,015 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.009 人	54 千円	0.009 人	54 千円	0.009 人	54 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		9,357 千円	9,588 千円	9,069 千円								
一次評価者	総務係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	平成32年度からは現在の小学校5、6年生における外国語活動から教科化され、新たに小学校3、4年生から外国語活動も実施されることにより、外国語指導助手配置の必要性はさらに高まると考えます。												
有効性	外国語指導助手が授業の補助に入ることによって、児童生徒の外国語や異文化に対する関心の高まり、コミュニケーション能力の向上に寄与すると考えます。												
達成度	外国語指導助手が授業を補助することによって、外国語教育の充実、国際理解への関心が図れていると考えます。												
効率性	一部民間企業との委託契約により、人材確保、労務管理等の事務の削減が図れており、現行で効率よく実施できていると考えます。												
当面の課題	平成32年度から小学校5、6年生は英語が教科化され、小学校3、4年生から外国語活動が実施されることにより、効果的な活用方法の研究が必要です。												
改革計画	教員と外国語指導助手の協力関係を深め、授業内容や教材の工夫等により、児童生徒の国際理解教育への関心やコミュニケーション能力を高めます。												
二次評価者	学校教育課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	市内の中学校2校それぞれに外国語指導助手を配置しており、教員との連携のもと、外国語教育の充実が図られていると考えます。一層の連携及び授業内容の工夫に努めてください。												